

じどうかんプロジェクト 2013「顔の見える意見交換大作戦！」

2013.5.20（月） 11:00～12:00 / 13:00～15:00

宇和児童館

ゲストスピーチ「児童館の役割と可能性」 / 意見交換「子どもと向き合う造形表現」



遊びの定義とは



トイレットペーパーの芯を使った造形



トイレットペーパーの芯を使った造形



造形について解説



身近な素材を使った造形



造形活動で大切にしたいこと



グループで集合写真



グループで集合写真



グループで集合写真



グループで集合写真

特別ファシリテーター 矢生 秀仁 氏 (出前ワークショップ DUNUT 主宰)

参加者 25名

コンセプトである「正解・不正解のない、考えや感じたことを自由に表現しあえる空間づくり」を展開。遊びの定義を検証し、そのポイントについて多岐にわたり解説いただきました。

そして、地域における第三の大人の存在の重要性を参加者で理解することで、児童館活動での地域福祉へ意識の向上を高めることに。

午後からの意見交換においては、身近な素材を活かした造形を行い、子どもたちの多種多様な発想を拓げる支援について各自の認識に発展した。さらにグループ討議にて、価値観の違いから事業展開に支障がきたさないよう全体で共有を図りました。

ファシリテーターの矢生先生からは、「自分の価値観を実感する場所としての児童館」「創造的な遊びの発信地としての児童館」「子育て観の発信地としての児童館」について総括をいただきました。

意見交換を通し、県内児童館職員の連携を図る一助にもつながりました。